長洲町立長洲小学校 校長便り No.129

面の話

みんなの居場所の裏面は、小学生に 必要ではないかと思う問題、 慣用句等々を載せていきます。 ご家族の団らんの話題にしてみてくだ さい。会話が広がほす。

令和5年10月30日(月)

うことでした。そして、書 雑な部分も丁寧に書かれ いてくれた字を見ると、複 マホを使って調べたとい 供達4人が反応してくれ じられました。 ていて、カの入れ具合が感 の?」と聞くと、辞書とて て、「どうやって調べた

やスマホを片手に意味を 難しいと感じる本を、辞書 繋がり、国語だけでなく のです。このような活動 ようとすることが大切な 興味を持ち、主体的に調べ ことができます。少しだけ 他教科への好影響も狙う は、読書の質的な向上にも るかもしれません。実は難 と感じる方もいらっしゃ 書いて意味があるのか? **催認しながら読む、 結構**率 大切なのではなく、漢字に しい漢字を覚えることが こんなに難しい漢字を いものですよ。

りました。出題していた漢 出題している私もすぐに めない、あるいは書けない ある漢字なんだけども読 字は、どこかで見たことが 掲載していた「書けたらす 数字でした。 というものばかりでした。 **善くことができる漢字は** こい漢字SP」に反響があ 先日、校長便りの裏面に

料を見ながら心無い一言を口にする子供もいまし た。どのような事前学習をしてきたらそんな言葉が 出るのかと呆れました。改めて、学びの大切さを感 いる子供達がいる中で、私はその県外の6年生が気 差しでメモをしたり先生に小声で質問したりして ャペチャクチャ、ず~っと喋っています。真剣な眼 す。 県外の6年生数名が見学をしながらペチャクチ になって仕方がありませんでした。 しかも、 展示資 じた場面でした。 さて、数年前の原爆資料館での経験をお話ししま

り、言動を注意することが多くなっています。「こ 団に共通する言動を幾つか紹介しましょう。「場面 リック)を混同しているのではないかと思う時があ 最近の子供は、家庭(プライベート)と公共(パブ 庭から出たら、全て学びの場であり公共の場です。 子供達の姿から色々なことを考えます。子供達が家 も平気で走る」、「自分勝手を通そうとする」等です。 こはどこだか解ってる?」と声を掛けることもしば に合わない大声を出す」、「(危険なのに) 人がいて ことが多く、そこでも集団の質や協働性が見え隠れ しばです。学校は紛れもなく学びの場であります。 します。活動や学習の意味合いを理解していない集 学校で教育効果を上げるためには、保護者の皆様

「学びの場」であることを意識して

が、やはり成長を感じます。この子達ともあとらか り、昨年の宿泊教室から子供達の姿を見ています 校の修学旅行団や一般のお客さんの立ち居振る舞 の参加でしますので、長洲小学校の修学旅行団と他 揮し、めあての達成に向けて活動してくれるのでは 月余りでお別れかと思うと、淋しくなってきます。 いを、比較して見てみたいと思います。6年生にな ないかと期待しています。 私は引率者の代表として きます。子供達は多くの場面で主体性と協働性を発 明日明後日と、6年生と一緒に修学旅行に行って

修学旅行はフィールドワークなど、班で行動する え、自分の仕事が何なのか、何を求められているのかをしっかり考えようと自分に言 い聞かせ、仕事に向き合いました。

り返ると、あまり教頭先生のお手伝いはできなかったように思います。教頭先生のお 仕事というのは学校全体のコントロールと膨大な量の事務処理が基本であり、それは 世話になるだろうと思っていましたので、結構ドキドキの年度末でした。3年間を振 平成26年度末、異動の時期です。主幹教諭だった私、3年間は南ヶ丘小学校にお

思っていたのですが、いわゆる「児童の教育を司る」という部分で、私ばかなりの音 児童の教育を司る。」とあり、必要であれば授業も行いますし、生徒指導もするんだよ 動のパターンをイメージしていました。 結果は「留任」でした。 ちょっとホッとした ですが、「必要に応じて」の業務ですから、学校によってその量は違います。私はどち 幹と教頭で2人で1人です。」と。 私は内心 「教頭業務の基礎を教えてください…」と 頭先生からこう言われたことがあります。「先生が来てくれてかなり楽になった。」、「主 な学校になればなるほどその業務量が増えるものですから、主幹教諭が配置され教育 でも屋」とでも言うのでしょうか、莫大な量の仕事があるという訳です。そして大き 末の緊張の場面です。いざ、校長室へ。この時点で私の中には幾つかの考えられる異 らかというと、この業務が多い学校にお世話になることが多いような気がしています。 献をしていたようでした。児童の教育を司るといっことは教頭職の重要な業務の一つ 業務の負担が軽減されていったという経緯があるのです。 南ヶ丘小学校在任当時、教 ということなのです。主幹教諭が「何でも屋」なら、教頭職というのは「スーパー何 できて当たり前のお仕事です。ただ、法律に教頭の業務の規定として「必要に応じて ことを覚えています。まだ自信がなかったのでしょうね。主幹教諭として4年目を河 話が反れました、元に戻しましょう。平成26年度末、異動の時期です。毎年年度

漢字SPに4年生の子

「澤田主幹、これまでの本校での実践を発表してほしいという打診がありました。 断 ある日、校長室に呼ばれ、校長先生からお話が。

私は良い機会を頂いたと自分に言い聞かせ、早速発表の準備をしました。相当の枚数 のプレゼンテーションを作り、発表原稿を作成、南ヶ丘小学校の管理職の前で発表リ ハーサルを行いました。いよいよ当日…。 大体私にちの世界では、このような打診は断ることのできない、半ば命令ですので、 れない打診です。頑張ってね。先生にとってはプラスになることだから。」

りはしません。私はラッキーと思いました。なぜなら、自分の前の素晴らしい実践発 認すると、何と1番でした。1番ということで「え~っ」と、子供みたいに嫌がった 任主幹教諭が配置されている学校の校長先生でした。 受付を済ませ、私の発表順を確 表の後はプレッシャーがかかるからです。 1番の私は原稿も作っていましたのでそれ 6月頃だったと思います。 県庁の会議室での発表でした。 参加者は、主幹教諭と新

を読むだけ、楽勝?です。案の定、比較的楽に発表をすることができました。 その後に続いていく良い経験になりました。 何事も経験が大切だという言葉を聞いたことがありますが、この経験は私にとって (つづく)

大切です。今後とも教育活動へのご理解とご協力を

と私たち教師が協力して子供達に指導することが

よろしくお願い致します

シリーズ「自分を語る」 #129

)